

令和3年度（2021年度）

熊本市献血推進協議会

日 時 令和3年（2021年）10月21日（木）14時～

場 所 ウェルパルクまもと 3階会議室

目 次

- I 令和2年度（2020年度）献血推進事業報告
- II 令和3年度（2021年度）献血推進事業計画

《資料》

- 1 献血の実施等について
 - ①熊本市の献血量及び献血者数の推移
 - ②熊本市の年代別献血者数の推移

I 令和2年度（2020年度）献血推進事業報告

1 熊本市献血推進協議会

開催日時：令和2年10月6日（火）14時～

場所：ウェルパルクまもと 4階会議室

出席者：委員7名・熊本県赤十字血液センター関係者・熊本市保健所
医療政策課職員

議事録を熊本市ホームページへ掲載

2 普及啓発

（1）校区献血の推進

・町内自治会等を通じて、校区献血のポスター掲示及び各家庭へチラシ回覧を依頼。

・熊本市ホームページに献血啓発記事の掲載。

（2）一般市民への普及啓発

市政だより（令和2年5月号）

市政だより（令和3年1月号）

ゴールデンウィーク中の 献血にご協力を

期 県赤十字血液センターホームページへ **場** 日赤プラザ献血ルーム（東区長嶺南2丁目1-1・☎384-6727）、下通り献血ルームCOCOSA（下通NSビル5階・☎325-9218） **内** 血液製剤には有効期限が採血後4日間と非常に短いものもあり、常に多くの方々からの献血が必要です。ご協力をお願いします

（医療政策課 ☎364-3186）

献血をお願いします

場 日赤プラザ献血ルーム（東区長嶺南2丁目1-1）、下通り献血ルームCOCOSA、献血バス **内** 血液製剤は長期間の保存ができないため、常に多くの方の献血が必要です。新型コロナウイルス感染症の影響により県内でも献血者数が減少しています。献血にご協力ください ※献血バスは、校区・企業・学校などを回り献血を受け付けています。献血ルームでも校区献血として申し出ると、期間限定で熊本市地域献血推進連合協議会作成のクリアファイルをプレゼント！ **固** 熊本県赤十字血液センター（☎384-6000）

（医療政策課 ☎364-3186）

・FM 熊本ラジオ放送「フレッシュ・フラッシュ熊本」

	放 送 日	内 容
1	令和2年 4月28日(火)	献血のお願い
2	令和2年 6月23日(火)	臓器移植について
3	令和2年 6月30日(火)	骨髄バンク登録について
4	令和2年 7月21日(火)	献血のお願い
5	令和2年 8月18日(火)	臓器移植について
6	令和2年 8月25日(火)	骨髄バンク登録について
7	令和2年11月 3日(火)	骨髄バンク登録について
8	令和2年11月 3日(火)	臓器移植について
9	令和2年12月22日(火)	献血のお願い
10	令和2年12月29日(火)	献血のお願い

・普及啓発キャンペーン時のポスター等を市関係施設（熊本市役所本庁舎・各区役所・まちづくりセンター等）へ配布

キャンペーン内容	実施内容	キャンペーン期間
令和2年度「愛の血液助け合い運動」	ポスター掲示	令和2年7月1日 ～7月31日
令和3年「はたちの献血キャンペーン」	ポスター掲示	令和3年1月1日 ～2月28日

(3) 高校生への普及啓発

献血者数が減少傾向にある若年層への献血意識向上のため、市内高等学校へ献血セミナーの実施や保健体育授業内での啓発と高校献血を血液センターと連携して働きかけていたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施。

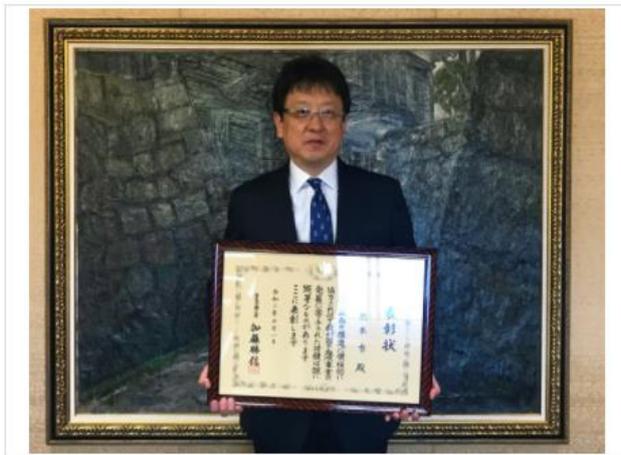
(4) その他普及啓発

・スマートフォン専用アプリ「熊本健康アプリ もっと健康!げんき!アップくまもと」とタイアップ。献血1回につき健康ポイントとして40ポイント付与(年1回)。

3 その他

熊本市が、長きにわたり献血推進運動へ取り組んできたことに対し、令和2年度（2020年度）献血運動推進協力団体等の厚生労働大臣表彰を受賞しました。

本市の受賞は、組織的かつ計画的な献血運動を促進してきたこと、特に400ml献血に積極的に取り組んだ実績が評価されたとのこと。今後もより一層の献血の推進を図って参ります。



II 令和3年度（2021年度）献血推進事業計画

1 熊本市献血推進協議会

日 時：令和3年（2021年）10月21日（木）14時より

場 所：ウェルパルクまもと 3階会議室

2 普及啓発

（1）校区献血の推進

・校区献血が行われる校区、地区のポスターとチラシを作成し、町内自治会等へポスターの掲示及び各家庭へチラシの回覧を依頼（献血実施日の約一カ月前に送付）令和3年度は、16校区、3地区で22回を計画。

（令和3年9月末時点での実施状況等）

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、5月は本荘校区、碩台校区、城西校区、田迎・田迎西校区の4校区が校区献血を中止。

9月は、託麻東校区、城山校区が中止、尾ノ上校区が10月に延期。

・熊本市ホームページに献血啓発記事の掲載

（2）一般市民への普及啓発

・市政だよりへ啓発記事の掲載。

・ラジオ広報として、FM熊本ラジオ放送「フレッシュ・フラッシュ熊本」で献血協力依頼の内容を放送。

・市職員専用電子掲示板へ、献血協力依頼や啓発等の内容掲示。

・普及啓発キャンペーンのポスターや冊子等を、市関係部署や区役所、まちづくりセンター等の施設へ設置。

（3）高校生への普及啓発

・献血者数が減少傾向にある若年層への献血意識向上のため、市内高等学へ献血セミナーの実施や保健体育授業内での啓発と高校献血を血液センターと連携して実施。

（4）その他の普及啓発

・スマートフォン専用アプリ「熊本健康アプリ もっと健康！げんき！アップくまもと」とタイアップ。令和3年度より献血1回につき40ポイント付与の健康ポイントが年1回から年3回に増えたことにより、普及啓発を後押し。

(1) 熊本市の献血量及び献血者数の推移

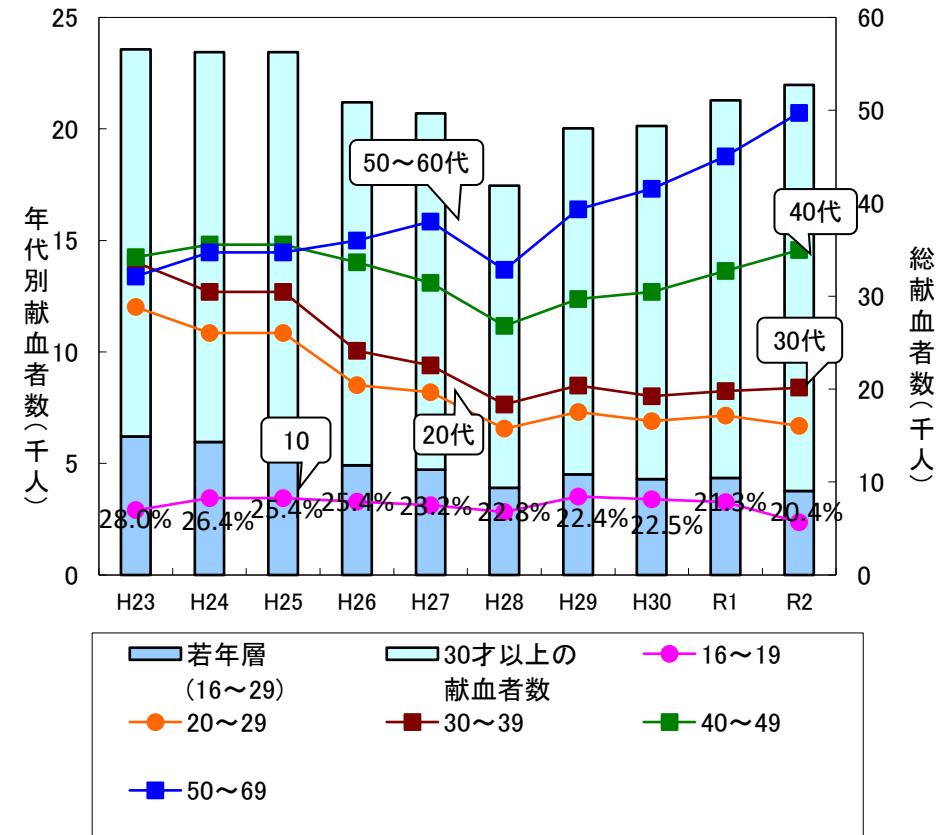
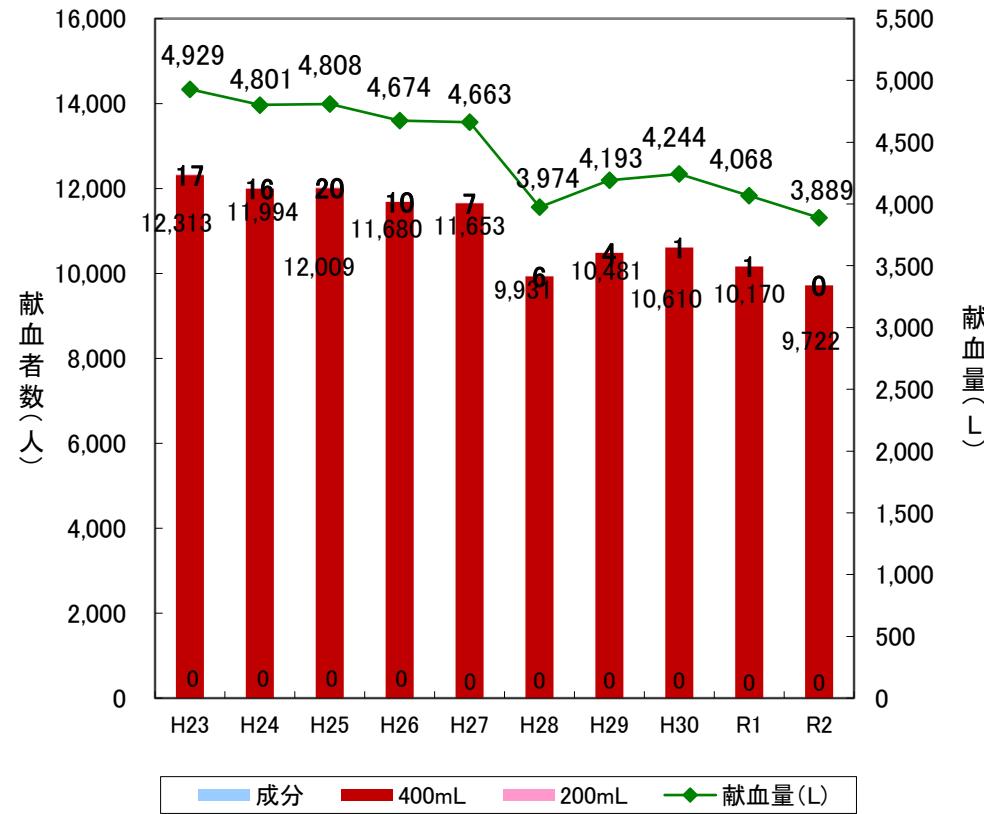
(移動採血車による献血のみ)

年度	目標数(人)	献血者数			目標に対する割合	献血量(L)
		400mL	200mL	成分		
H23	14,752	12,313	17	0	83.5%	4,929
H24	14,875	11,994	16	0	80.6%	4,801
H25	14,896	12,009	20	0	80.6%	4,808
H26	14,677	11,680	10	0	79.6%	4,674
H27	14,308	11,653	7	0	81.4%	4,663
H28	13,442	9,931	6	0	73.9%	3,974
H29	12,484	10,481	4	0	84.0%	4,193
H30	12,094	10,610	1	0	87.7%	4,244
R1	11,810	10,170	1	0	86.1%	4,068
R2	12,005	9,722	0	0	81.0%	3,889

(2) 熊本市の年代別献血者数の推移

(200mL献血・400mL献血・成分献血、移動採血車・固定ルームすべて含む)

年齢区分	16～19才	20～29才	30～39才	40～49才	50～69才	合計 (総献血者数)
H23	3,168	11,436	13,560	14,646	14,093	56,903
H24	3,446	10,846	12,693	14,812	14,471	56,268
H25	3,885	10,316	11,005	13,689	13,426	52,321
H26	3,287	8,517	10,051	14,021	14,991	50,867
H27	3,130	8,193	9,400	13,099	15,841	49,663
H28	2,835	6,557	7,650	11,172	13,693	41,907
H29	3,519	7,304	8,494	12,373	16,388	48,078
H30	3,392	6,909	8,011	12,691	17,319	48,322
R1	3,278	7,153	8,250	13,640	18,764	51,085
R2	2,360	6,689	8,398	14,566	20,725	52,738



令和2年度の目標献血者数は、12,005人であったが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、移動採血車による校区献血や地域献血等の中止が多数発生したため、目標達成とはならなかった。しかし、そのような状況においても、移動採血車による献血者数の目標に対する割合は、前年度から5%減程度と大きく減少することなく、各団体の活動の成果が表れている。

令和2年度は、移動採血車による献血者数が減った状況においても、成分献血を含む献血者数は前年度より増加しており、40代以上の方々が献血に協力した結果であり、各団体の活動の成果が表れている。今後も、継続的な献血者確保のため、若年層への献血意識向上などの啓発活動を実施していくことで、更なる結果が得られると期待される。